

コースコード : CG-CTDE
税込価格 : 275,000円 (税抜価格 : 250,000円)
日数 : 2日間

トレーニング内容

サイバーセキュリティの基礎となる理論と、実際にAPT攻撃を検知するのを実体験するハンズオンを含んだ実践的なトレーニングです。
ハンズオンはイスラエルのセキュリティエンジニア率いるレッドチームと連携して実施します。仮想化技術で隔離され、安全に演習が実施できる環境下でAPT攻撃を体験できます。APT攻撃は熟練したホワイトハッカー（トレーニングを受けたサイバー攻撃のスペシャリスト）が実施し、トレーニングに有益なサイバーセキュリティの実践的な知見を導入致します。

ここに注目!!

オンライン開催(座学)と現地開催(演習)を組み合わせた2日間のトレーニングです。

【こんな方にオススメ】

- ・社内セキュリティ担当部門として、有事に備えた実践的な訓練を積みたい方
- ・システム部門とセキュリティ部門の調整役を担っている方
- ・新しくセキュリティ部門に配属される方
- ・情報処理安全確保支援士特定講習に認定されています（赤坂・名古屋・大阪アリーナ開催講座が対象）
 - ・「人材開発支援助成金事業展開等リスクリング支援コース」対象講座です（受講費の最大75%以上が助成されます）

トレーニング内容を動画でもご紹介しています。

[Cyber-Threats and Defense Essentials \(YouTube : VLC Security Group\)](#)

ワンポイントアドバイス

本コースは、オンライン開催(座学)と現地開催(演習)を組み合わせた2日間のトレーニングです。

<こんな方にオススメ>

- ・社内セキュリティ担当部門として、有事に備えた実践的な訓練を積みたい方
- ・システム部門とセキュリティ部門の調整役を担っている方
- ・新しくセキュリティ部門に配属される方

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

- ・IT担当者

- ・情報セキュリティ担当者
- ・SOCアナリスト
- ・情報処理安全確保支援士

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・システム部門またはセキュリティ部門で1年以上従事経験がある
- ・インターネットブラウザを使用して日本語で各種情報を検索・閲覧できる
- ・プログラミングの知識や経験は問いません

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

実際のサイバー攻撃を受け、複数の検出・監視ツールを駆使してサイバー攻撃を検出し、その分析を行うためのスキルを習得します。

【習得できるスキル】

- ・複数の検出・監視ツールを駆使してサイバインシデント攻撃を検出
- ・検出したサイバー攻撃インシデントの初期分析

アウトライン

オンライン開催(座学)と現地開催(演習)を組み合わせており、マークはオンライン受講対象カリキュラムです。

また、オンライン受講対象カリキュラムの副教材としてオンデマンド(ビデオ)を視聴いただけます。

オンラインならびにオンデマンド受講方法の詳細に関しましては、下記の受講者向けガイドラインをご参照ください。

[オンライントレーニング\(Cybergym主催\)受講者向けガイドライン](#)

オープニングセッション

トレーニングの概要とスケジュール説明

サイバーセキュリティの概念

アクティブディフェンスの概念

情報セキュリティの概念

セキュリティシステムのレイヤー解説

WireShark概要

ネットワーク解析ツール「WireShark」の利用法解説

WireShark演習

演習用の解析データを実際にWireSharkで解析するハンズオン演習

Sysinternals概要

Windowsで利用できる汎用解析ツール「Sysinternals」をセキュリティの問題解析で利用する手法の解説

マルウェアフォレンジック演習

あらかじめマルウェアを配置したOS環境で脆弱性を検知するハンズオン演習

SIEM概論

SIEM(Security Information and Event Management)ツールの概要と操作について解説

アリーナインフラについて

トレーニングで利用するアリーナのセキュリティシステムとインフラについて説明

APT攻撃演習

イスラエルのレッドチームが行うAPT攻撃に対して、受講者（ブルーチーム）がチームで連携して攻撃を検知・防御するハンズオン演習

演習レビュー

行われたAPT攻撃演習の振り返り

クロージングセッション

講習全体の総括と質疑応答

【習熟度評価基準】

演習に取り組んだ結果の報告提出を求め、あらかじめ設定した各演習目標に到達していくかつ所要時間内で演習を完遂できたかをもって習得技術の把握・測定を行います。

【修了認定の判断基準】

- 修了認定は、演習問題の審査に合格した者に対して行います
- 演習結果において、60点以上を合格とします

トレーニングプログラムは一部変更になることがあります

単独開催の場合には、お客様に応じてカスタマイズも承っております